

重要なお知らせ

6月18日(月)に発生した大阪府北部を震源とする地震の影響により、本館は当分のあいだ臨時休館といたします。それに伴い、企画展の開催を延期するとともに、館内催し物についても原則中止とさせていただきます。詳細につきましては、決まり次第本館ホームページに掲載いたします。
本コーナーの情報に大きな変更が生じますこと、お詫び申し上げます。

企画展

「アーミッシュ・キルトを訪ねて」そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」
無地の服を着て馬車を駆る北米のキリスト教再洗礼派アーミッシュが布の端切れを生かしてつくるキルトは、その鮮やかな色合いや細やかなステッチで人びとを惹きつけています。2011年より収集してきたみんなくコレクションを素材として、キルトに織りこまれた日々の暮らしや物語、キルトが結ぶ世界との交流をたどりま。

■関連イベント
夏休み子どもワークショップ
「キルト その世界の不思議を考える」
—— フィールドワークに挑戦！——
自由研究はみんなくで解決！ みんなくで1日研究者になって「フィールドワーク」を体験してみよう。

みんなくセミナー

日時 7月21日(土) 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示料を鑑みる方は、展示観覧券が必要)
第482回
アーミッシュ・キルトを巡る旅
—— いっつも的人生物語へ——
講師 鈴木七美(本館教授)
無地の服を着て馬車を駆るキリスト教再洗礼派アーミッシュが端切れでつくるキルトは、贈り物や支援品として人びとをつないできました。キルトに織りこまれた生活世界とキルトが紡ぐ物語を訪ねます。



サンシャイン・アンド・シャドウパターンのベッドカバー。母親から息子夫婦への結婚祝い

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話そう

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんなく展示資料」について分かりやすくお話しします。

7月1日(日) 14時30分～15時30分 本館ナビひろば
北アメリカ先住民イヌピアットと
イヌイットによる捕鯨
話者 岸上伸啓(本館併任教授)

7月8日(日) 14時30分～15時 本館ナビひろば
精霊信仰と彫像
話者 信田敏宏(本館教授)

日時 7月29日(日)
10時30分～16時(10時20分集合)
講師 鈴木七美(本館教授)
会場 本館展示場
対象 小学4年生～6年生
※要事前申込(先着順/定員12名)
参加費 500円

ギャラリートーク

日時 7月26日(木)、8月23日(木)、
9月13日(木)
各日14時
講師 鈴木七美(本館教授)
会場 本館企画展示場
※申込不要、要展示観覧券

特別展

「工芸継承——東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在」
日本における工芸の近代化、産業化の推進と東北地方の工芸界の発展を推進した国立工芸指導所は、まさに日本におけるインダストリアルデザインの原点の一つです。本展では、国立工芸指導所の活動を振り返りつつ、日本の工芸品が、どのように世界に挑戦するのについて考えます。
会期 9月13日(木)～11月27日(火)
会場 特別展示館



金属板を木目模様にした人工木目大皿

みんなく映画会 第42回ワールドシネマ
「僕たちの家に帰ろう」
ユグル族の二人の兄弟が、離れて暮らす両親の元へ向かう過酷な砂漠の旅を描く中国

映画を上映。現代が失いつつある民族の文化や自然環境について考えます。
日時 9月24日(月・休)
13時30分～16時30分(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券
※参加券を当日11時から本館2階講堂前に配布

みんなく秋の遠足・校外学習
事前見学&ガイダンス

秋の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。
日時 8月23日(木)、24日(金)
14時～16時30分
会場 本館第5セミナー室ほか
※参加無料
ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。
お申し込み・お問い合わせ先
国立民族学博物館案内所
電話 06-6878-8341
(10時～17時)
Fax 06-6878-8441

みんなくSummer Sama塾 塾生募集!

知的障がい者の方のための学習ワークショップを開催します。グローバル化が進む現代社会において、知的障がい者の方々も世界の文化や民族、そして多様な生き方や考え方を学ぶことは必要不可欠であると考えています。世界の文化を知ることによって、より楽しく豊かな生活を送っていただきたいと思っています。
対象 中学生以上の知的障がいのある方(療育手帳を持っている方)
活動場所 国立民族学博物館
※参加無料
※参加希望の方は、まずは「みんなくSummer Sama塾」へ登録ください。

※ワークショップに参加する塾生には、必ず保護者もしくは介護者の方が付き添ってください。
※受付期間 8月31日(金)まで
※詳しくはみんなくホームページをご覧ください。

みんなくミュージアムパートナーズMMCP
「点字体験ワークショップ」

目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コミュニケーション！ 点字体験ワークショップを開催します。
日時 7月14日(土) 12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

「国立民族学博物館コレクションの道」

国立民族学博物館のコレクションから、世界中のさまざまな民族によって作られた貝細工約160点を、美術館の空間で展示します。私たち人間と貝とがどのような関係を育んできたのかを問い直します。
会期 9月2日(日)まで
会場 神奈川県立近代美術館葉山(神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1)
休館日 月曜日
7月16日(月) 祝は開館
主催 神奈川県立近代美術館
共催 国立民族学博物館
協力 葉山しおさい博物館
後援 葉山町、葉山町教育委員会
助成 公益財団法人野村財団

友の会

友の会講演会

会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)
※会員無料(会員証提示)、一般500円

第480回
企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて」
——そこに暮らし、そして世界に生きる人びと——関連
「アーミッシュの信仰と文化——歴史から現代へ」
講師 踊共(武蔵大学教授)
日時 8月4日(土) 13時30分～14時40分

アーミッシュは北米の田園地帯に暮らすキリスト教の一派で、素朴なライフスタイルを特徴とします。過剰を好まず、教育や医療も自分たちでおこなうとします。その起源は一七世紀末のスイスで、母語はドイツ語です。聖書の教えを厳格に守る彼らは、派手な芸術を好みませぬ。一方、先祖伝来のカリグラフィ(文字装飾)、書籍印刷、木工、手織りのキルトにみられる豊かな色彩と温もりのあるデザインはじつに魅力的です。彼らの来歴とともにその暮らしを紹介いたします。
※講演会終了後、企画展の見学会(40分)をおこないます。
【解説 鈴木七美(本館教授)】

第481回
絶滅危惧生物と人の交わり
——捕獲、鑑賞、保全を中心に——

講師 岸上伸啓(本館併任教授)
日時 9月1日(土) 13時30分～14時40分
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会(40分)をおこないます。

第92回民族学研修の旅

融合と共存の北西インドをゆく
女神信仰とインド叙事詩の祭礼の期間に訪ねる

講師 三尾稔(本館教授)
日程 10月13日(土)～22日(月)
【申込締切: 8月31日(金)】

第79回体験セミナー
富士山 信仰の世界

講師 秋道智彌(山梨県立富士山世界遺産センター所長、本館 名誉教授)
日程 8月26日(日)～27日(月)
【申込締切: 7月20日(金)】

刊行物紹介
■前川和也 編 松島英子、寺村裕史、渡邊俊祐 著
MAEKAWA Kazuya(editor in chief),
MATSUSHIMA Eiko, TERAMURA Hirofumi and WATANABE Shunsuke
Ancient Text Sources in the National Museum of Iran Vol.1
Brick Inscriptions in the National Museum of Iran - A Catalogue
邦題: イラン国立博物館所蔵のレンガ碑文
- 資料カタログ
京都大学学術出版会 16,500円(税別)
イラン国立博物館が所蔵する古文書資料を集成。スーサ遺跡やチョガ・ザンビール遺跡から出土した、楔形文字が記された多数のレンガ碑文を翻字とともにカラー写真で掲載。3Dスキャナを使用して資料をデジタル計測。コンピュータ上で復元された3Dモデルの一部を紹介。

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/ E-mail minpakutom@senri-f.or.jp

